



大阪錦画日々新聞紙 四十六

明治八年六月廿午後三時

頃東京芝本町を若者二人少

さし持て来る花世式は若女不定の

ゆとさたもまを元氣の公多声の

エをよとの拍子のうみ掃の輪がねん底

ぬけて男七者少等汲うらやうく轉がし出らり

此高人の大さマ死胸の早が責念佛お道經の途方不

くれ共由往生まろ看ま見うめて逆傍の糸やかり

荒縄をよと品まよ息吹うつし漸く必げ厚く

謝しく初ふかまろて徐やう三田の方殊勝をなま

かういふあひ行の報知六百八十九号し出せり

文花堂誌

新錦画堂

錦画堂
明治八年六月廿日

大阪錦画日々新聞紙46号 文庫10-8068-36

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library